

令和 6 年 6 月 24 日 メルボルン交流抄

「4 校長先生の交流会のタベ」

2021 年にメルボルンに着任した時から、当地のメルボルン日本人学校、メルボルン補習授業校及びメルボルン国際日本語学校との連携を深めることはできないものかと考えて、3 校長先生の交流会を創設しました。さらに、昨年 2023 年からは当館が所管する南オーストラリア州にあるアデレード日本語補習授業校の校長先生にも声を掛けて参加してもらうことになりました。この 4 校で日本語を学習する児童・生徒の数は合計 1000 人規模です。今後も増えていくでしょう。各校長先生と共に現場の先生（遠方のアデレード日本語補習授業校を除く）にも数名加わっていただき、共通の課題（日本の教科書の改訂など）について意見交換してもらいました。確かに難しいと思えたのは、日本の教科書に普通に出てくる、虫の「蟬（せみ）」や花の「朝顔（あさがお）」をオーストラリアでは見たことがないという生徒たちがいて、そこから説明していく必要があるということです。

参加者一同から、このような直接対面で情報交換できたことはとても有益であったとの感想を伺いました。

今後、日本人学校に日本（文部科学省）から派遣されてこられた経験豊かな先生方による各補習校への巡回指導など、学校間の連携がさらに進むことを願っています。そして、児童・生徒のみなさんが学校生活を楽しんで日本語を勉強し、将来の日本とオーストラリアの架け橋となってもらいたいと願っています。



前列左からスワン由香里メルボルン補習授業校長、小橋幸代メルボルン日本人学校長、東田孝昭アデレード日本語補習授業校長、佐野孝子メルボルン国際日本語学校長